

少子化対策に関する市民アンケート調査
報告書

平成27年(2015年)11月
吹田市

◆報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下1位で表示しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- 個別に四捨五入しているグラフと合算で四捨五入しているグラフがあり、数値が一致しない場合がある。
- グラフ中のNは構成比を表示する際の母数を示す。
- 図表中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。
- 調査数にばらつきがあるため、職業形態については「学生」、子どもの人数については「5人以上」を除いて分析を行っている。

目 次

1. 調査の概要 -----	1
2. 調査結果 -----	2
I. 自身のことについて -----	2
(1) 年齢について -----	2
(2) 性別について -----	2
(3) 就業形態 -----	2
(4) 未婚・既婚等の状況 -----	3
(5) 子どもの人数 -----	3
II. 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあればよいか -----	4～9
参考資料 -----	10
資料1 アンケート調査票 -----	11～12
資料2 単純集計結果 -----	13
資料3 クロス集計の検定結果 -----	14

1. 調査の概要

(1)調査目的

若い世代が安心して就労し、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現できるような環境を整備するための施策を検討していくため、市民を対象にアンケート調査を行い、子育て世代が望むサポートを把握することを目的とする。

(2)調査方法

アンケート調査票を次の窓口に設置し、窓口を訪れた市民に協力を呼びかけ。調査票は回収箱に投函してもらい、回収。

- ① 吹田市立勤労者会館及びJOBナビすいた(まち産業活性部 地域経済振興室所管)
- ② こども部 子育て支援室
- ③ こども部 子育て支援室 のびのび子育てプラザ
- ④ こども部 こども育成室 保育幼稚園課
- ⑤ 福祉保健部 保健センター

(3)調査項目

- ① 自身のことについて
- ② 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるために望むサポートについて

(4)調査期間

平成 27 年 9 月 15 日(火)～10 月 14 日(水)

(5)回収結果

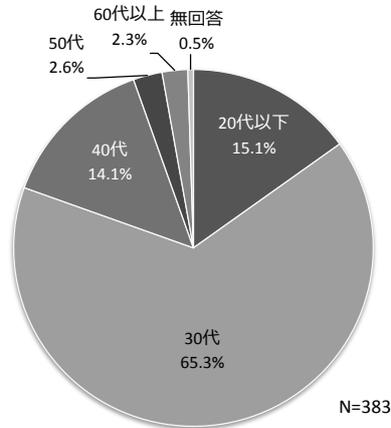
有効回収数 383 件

2. 調査結果

(1) あなた御自身のことについて、お答えください。(項目ごとに1つ〇)

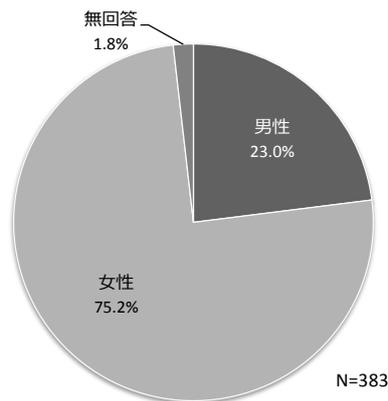
【年齢】

30代(65.3%)が最も多く、20代以下(15.1%)、40代(14.1%)が続いている。



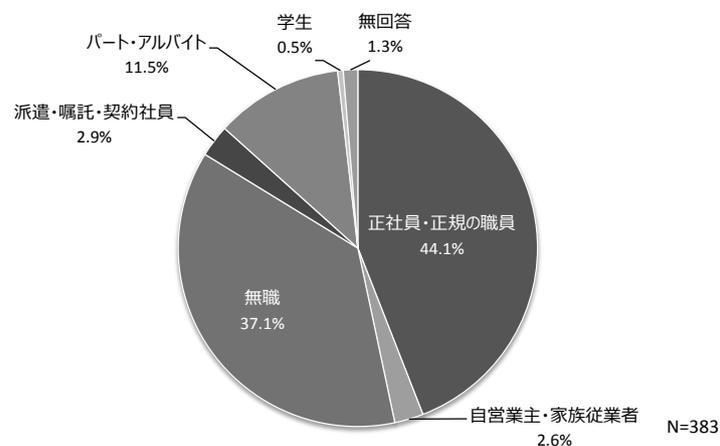
【性別】

女性が75.2%、男性が23.0%で、女性が男性に比べ多い。



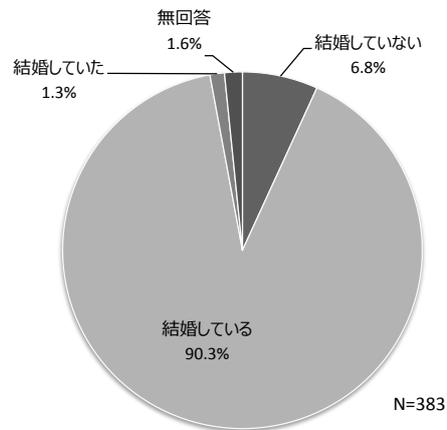
【就業形態】

「正社員・正規の職員」(44.1%)が最も多く、「無職」(37.1%)、「パート・アルバイト」(11.5%)が続いている。



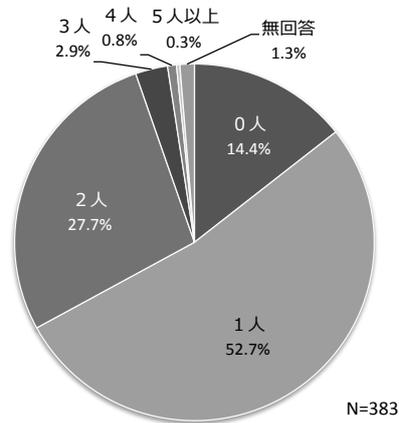
【4】未婚・既婚等の状況

「結婚している」(90.3%)が最も多く、「結婚していない」(6.8%)、「結婚していた」(1.3%)を大きく上回っている。



【5】子どもの人数

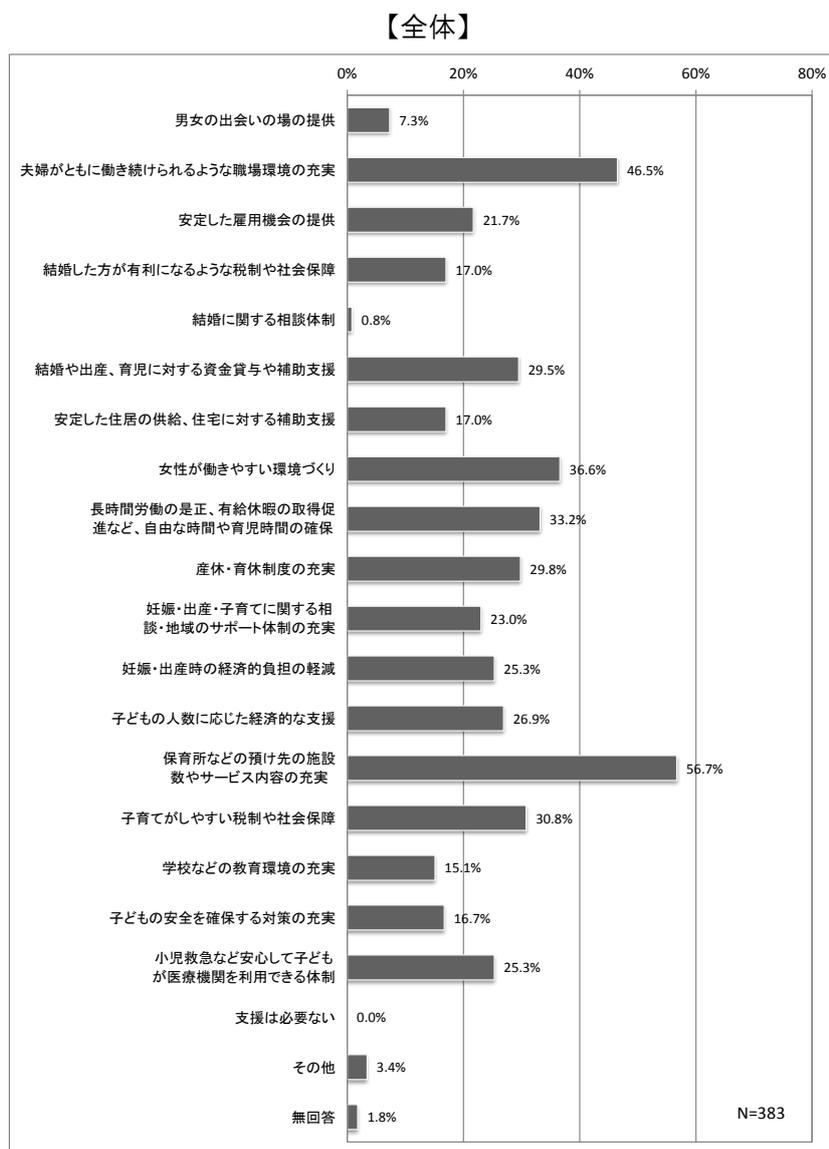
「1人」(52.7%)が最も多く、「2人」(27.7%)、「0人」(14.4%)が続いている。



(2) 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあればよいと考えますか。(該当するものに5つまで ○)

<全体>

「保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実」(56.7%)が最も高く、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」(46.5%)、「女性が働きやすい環境づくり」(36.6%)が続いている。



<年齢別> ※統計的に有意差が認められたものに絞り分析するものとする。

統計的にみると「安定した雇用機会の提供」、「結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援」、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制」で有意に差があった。

20代以下は他の年代に比べ「結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援」が高い。

30代と40代は他の年代に比べ「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制」が高い。

50代と60代以上は他の年代に比べ「安定した雇用機会の提供」が高い。

<性別> ※統計的に有意差が認められたものに絞り分析するものとする。

統計的にみると「結婚した方が有利になるような税制や社会保障」、「女性が働きやすい環境づくり」、「子どもの人数に応じた経済的な支援」、「保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実」で有意に差があった。

男性は女性に比べ「結婚した方が有利になるような税制や社会保障」、「子どもの人数に応じた経済的な支援」が高い。

女性は男性に比べ「女性が働きやすい環境づくり」、「保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実」が高い。

<就業形態別> ※調査数の少ない「学生」は除外し、統計的に有意差が認められたものに絞り分析するものとする。

統計的にみると「安定した雇用機会の提供」、「結婚した方が有利になるような税制や社会保障」で有意に差があった。

自営業主・家族従業者は他の就業形態に比べ「結婚した方が有利になるような税制や社会保障」が高い。

派遣・嘱託・契約社員は他の就業形態に比べ「安定した雇用機会の提供」が高い。

<未婚・既婚等の状況> ※統計的に有意差が認められたものに絞り分析するものとする。

統計的にみると「男女の出会いの場の提供」、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制」で有意に差があった。

結婚している人は他に比べ「男女の出会いの場の提供」、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制」が低い。

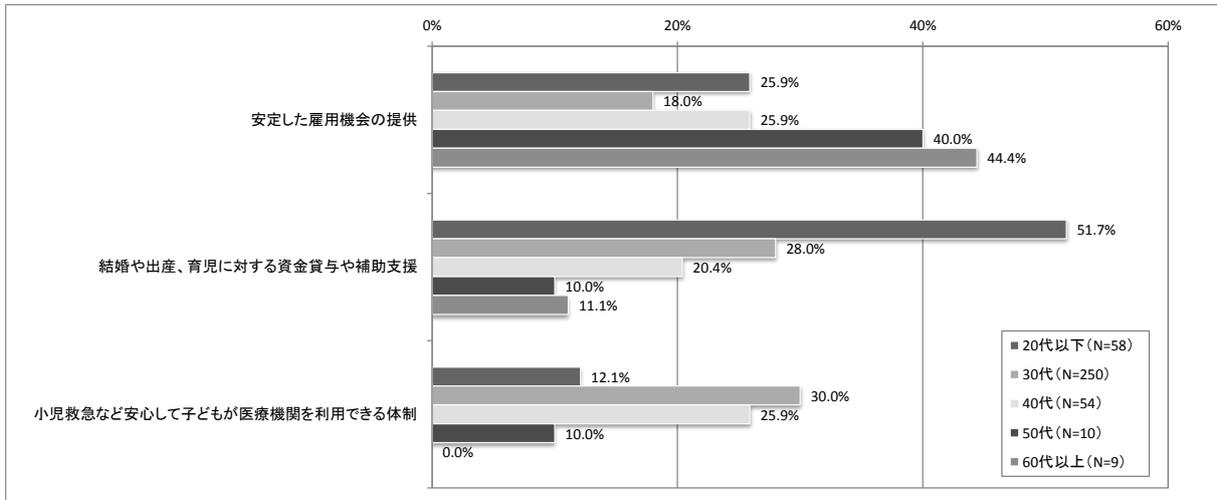
<子どもの人数別> ※調査数の少ない「5人以上」は除外し、統計的に有意差が認められたものに絞り分析するものとする。

統計的にみると「子どもの人数に応じた経済的な支援」、「子どもの安全を確保する対策の充実」で有意に差があった。

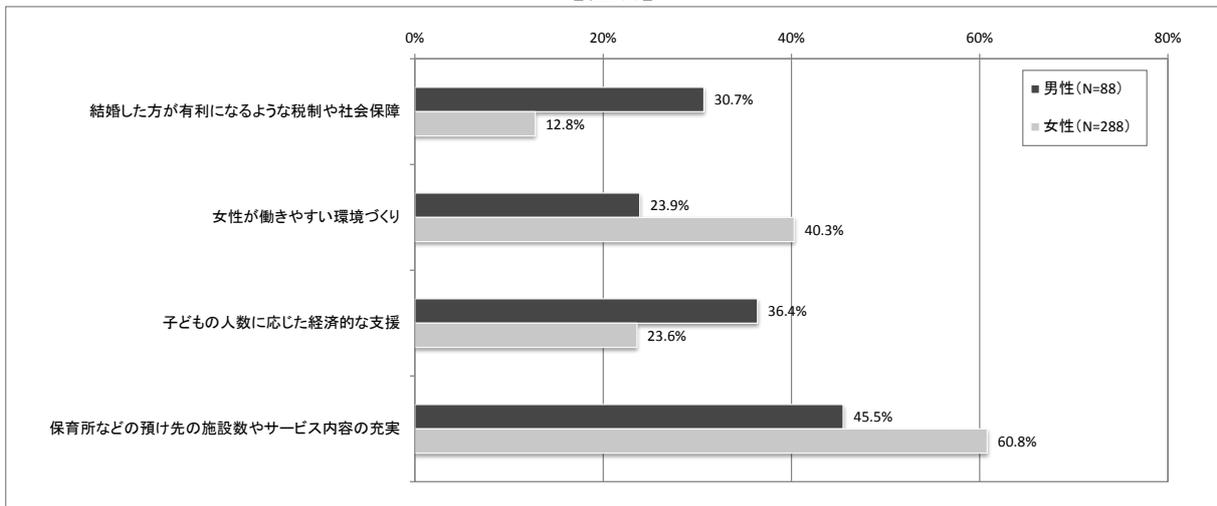
3人は他に比べ「子どもの人数に応じた経済的な支援」が高い。

4人は他に比べ「子どもの安全を確保する対策の充実」が高い。

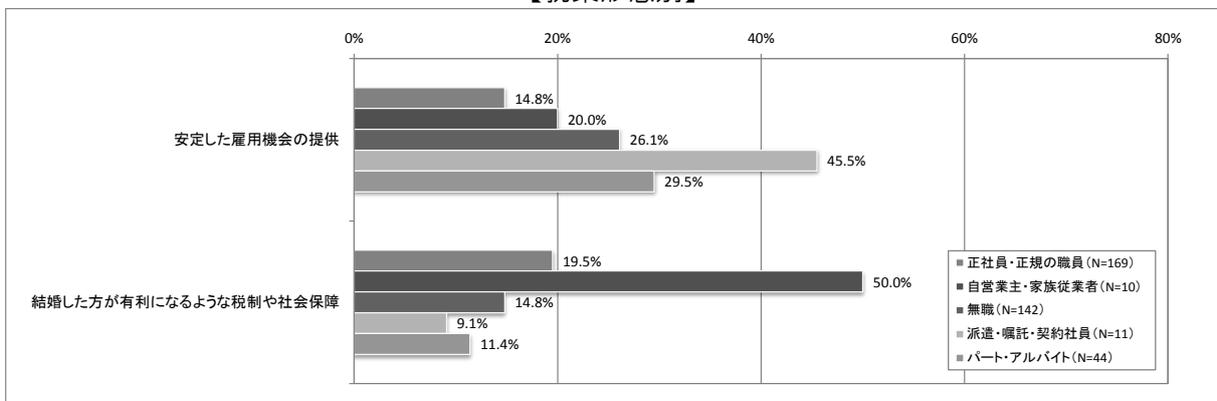
【年齢別】



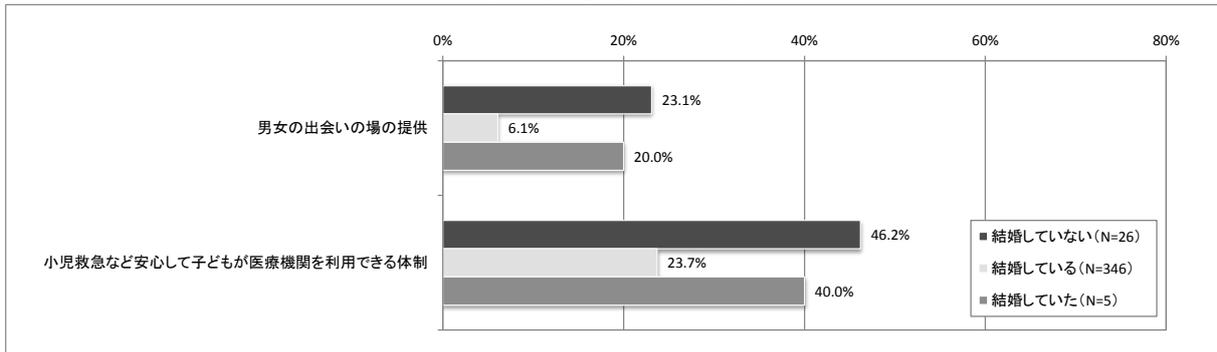
【性別】



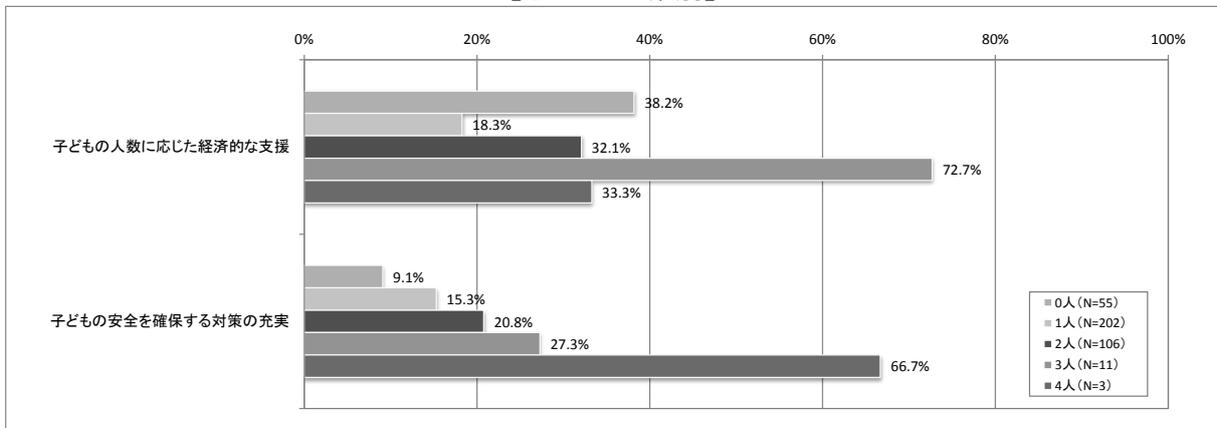
【就業形態別】



【未婚・既婚等の状況】



【子どもの人数別】



その他（あなたの御自由な意見をお聞かせください）

その他の記述欄に書かれた自由意見をとりまとめると、53 人分 80 件の意見があった。

カテゴリー	件数	主な回答内容
保育	32	保育所の数を増やして欲しい。
		公立の保育園をもっと増やして欲しい。
		公立保育所の民営化を廃止して欲しい。
		3才以上の認可の保育園も増やして頂きたいです。
		幼稚園の数が少ない。
		保育所がいつでも入りやすく、自由に選びやすくなると1人産んだ人が2人、3人と産みやすくなると思う。
		兄弟が一緒に保育園に行けるような配慮。病児保育の充実。育休が取得できない時に、保育所を途中退所しなくていいように考慮して欲しい。
		病児保育。以前に住んでいた神戸市は、市内に3ヶ所あった。働く為には、どんな状況でも安心して預けられる環境が必要。吹田は不十分。
		休日保育。利用料金は平日と差し替えて請求するべき。平日が休みの為、月～土は週3～4日しか利用していない。休日分をプラス支払うのは公平性に欠ける。
		少子化対策したいのであれば所得制限を撤廃すべき。
		母親の負担が大きい為、保育園ももっと気軽に利用できるようになったらいいと思う。
		時短勤務で子どもとの時間も大切にしたいのに、時短だと保育園に入りにくいので、通常勤務にするしかないのが辛い。
		幼保一元化に伴う、待機児童がなくなっていない。
		2人目の出生時(入院中)の1人目の世話が心配。そういう時のサポートが充実すると良い。
小学2年生以降の預け先が現状はない。		
給与が少ない→妻も働かないといけない→保育所空いていない。どうすればよいかわからない。		
労働環境	13	ワークシェアリングで週に休める日(出勤しなくていい)が1～2日(3時まで)あるような働き方も選択肢にあったらと思う。
		時短勤務制度を小学校入学までに拡大して欲しい。
		不妊治療の為の休暇制度の充実が絶対必要。
		残業・産休・育休など法律で定められていても、なかなか言いにくい会社もある。その環境を改善して頂きたい。
		派遣社員等でも産休育休がしっかりとやすい制度。
		今の国のあり方だと、子どもを育てるのは、女性に負担がいきすぎる。男性ももっと関わられるような働き方ができるようにする制度を、企業に義務づけるようにして、子どもを育てやすいようにしないと少子化は解決しないと考える。
		女性が子育てしながら働き続けるには、職場の助け合い(結婚していない人や子どものいない人)、理解、協力が不可欠である。
		正社員の雇用が増えることを願う。
施設整備	7	図書館の数を増やして欲しい。どこの家からも徒歩で行ける距離にあるといいなと思う。
		保健センターが遠くて不便。
		児童館が少ない、遠い。
		無料で遊べる施設をもっと増やして欲しい。
市役所・職員	6	子ども支援、保育関係の窓口の対応が悪い。「市民サービスとは何か」をよく考えて仕事をしてほしい。
		市役所で申し込みを一元化するのであれば、各保育所の情報をもっと取りまとめて欲しい。
		例えば300戸以上のマンション建設の際、保育所の設置を義務付けるなど、人口増加が待機児童増加に直結させないようにする。
		ファミリーサポートや初めて知った制度も沢山あるので、そうした子育て支援のためのサービスを教えてくれる講習会みたいなものがたくさんあるといいのかもしれない。
		補助は申請しないと(知らない)受けられないのはおかしい。通知の義務があるはず。
社会	5	男性がもっと育児に協力できるように社会全体が変わっていったらいい。
		専業主婦(夫)で十分やっていける社会。
		働かないといけない環境ではなく、働きたいと思えることが重要。

カテゴリー	件数	主な回答内容
補助・支援	6	産休や育休、取得実績により企業が税を免除されるなど、企業にとっても得になる制度。
		医療費無料。
		大学まで無料。
		子育てに関する補助金をもっと増やして欲しい。
		女性の負担の軽減。家事代行サービス等の支援。
		補助より、納税額の軽減をして欲しい。
公園整備	2	公園の美化(雑草を刈ったり、ゴミを片付ける)をしてくれると子どもが遊びやすくなる。
育児相談	2	妊娠期間中の相談や育児期間中の相談がしやすい環境の充実。
医療機関	1	小児救急が、吹田にも多く出来てくれると安心出来る。
企業	1	企業の育休手当で申請に対する手続きが、企業によって違い混乱したので統一して欲しい。
道路・交通	2	吹田市内のバスの充実。
		車道と歩道の整備。
交流	1	お年寄りや元気なシニアの方々と子育て中のママが子どもを通して、皆が孤独にならず外へ出て助け合っている仕組みがあればと思う。(一緒に遊んだり集まる会など)
防犯	1	子どもを狙った犯罪のニュースを見るたび、とても不安になります。防犯カメラの設置、子どもへの声かけ、見守りなど地域で子どもやお年寄りを守る取組を増やして欲しいです。
アンケート	1	該当するもの5つまでというのが少なすぎる

參考資料

資料1 アンケート調査票

少子化対策に関する市民アンケート調査 御協力をお願い

市民の皆様には、平素から市政の推進に御理解、御協力をいただき、ありがとうございます。

現在、本市では、人口減少克服、地方創生という喫緊の課題に対し、中長期的視点に立って取り組んでいくため、まち・ひと・しごと創生法に基づき、地方版総合戦略の策定を進めています。

つきましては、若い世代が安心して就労し、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現できるような環境を整備するための施策を検討していくため、少子化対策に関する市民アンケート調査を実施し、広く意見を聴取したいと考えております。ぜひ、皆様の率直な御意見をお聞かせください。

お忙しいところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力をお願いします。

平成 27 年（2015 年）9 月

■本調査に関する問合せ先

吹田市 行政経営部 企画政策室 担当：北澤

〒564-8550 吹田市泉町 1 丁目 3 番 40 号

TEL：06-6384-1605（直通）／FAX：06-6368-7343

※回答いただいた情報は、本調査の目的以外には使用しません。

あなた御自身のことについて、お答えください。（項目ごとに1つ○）

【年齢】 ①20代以下 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代以上

【性別】 ①男 ②女

【就業形態】 ①正社員・正規の職員 ②自営業主・家族従業者 ③無職
④派遣・嘱託・契約社員 ⑤パート・アルバイト ⑥学生

【未婚・既婚等の状況】 ①結婚していない ②結婚している ③結婚していた

【子どもの人数】 ①0人 ②1人 ③2人 ④3人 ⑤4人 ⑥5人以上

[裏面に続く](#)

結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあればよいと考えますか。（該当するものに5つまで○）

1. 男女の出会いの場の提供
2. 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実
3. 安定した雇用機会の提供
4. 結婚した方が有利になるような税制や社会保障
5. 結婚に関する相談体制
6. 結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援
7. 安定した住居の供給、住宅に対する補助支援
8. 女性が働きやすい環境づくり
9. 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保
10. 産休・育休制度の充実
11. 妊娠・出産・子育てに関する相談・地域のサポート体制の充実
12. 妊娠・出産時の経済的負担の軽減
13. 子どもの人数に応じた経済的な支援
14. 保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実
15. 子育てがしやすい税制や社会保障
16. 学校などの教育環境の充実
17. 子どもの安全を確保する対策の充実
18. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制
19. 支援は必要ない
20. その他（あなたの御自由な意見をお聞かせください）

[]

御協力ありがとうございました♪

以上で終了です。

御記入いただいた調査票は、窓口の回収箱に投函してください。



資料2 単純集計結果

あなた御自身のことについて、お答えください。（項目ごとに1つ○）

【年齢】		
調査数	383	100.0%
20代以下	58	15.1%
30代	250	65.3%
40代	54	14.1%
50代	10	2.6%
60代以上	9	2.3%
無回答	2	0.5%

【性別】		
調査数	383	100.0%
男性	88	23.0%
女性	288	75.2%
無回答	7	1.8%

【就業形態】		
調査数	383	100.0%
正社員・正規の職員	169	44.1%
自営業主・家族従業者	10	2.6%
無職	142	37.1%
派遣・嘱託・契約社員	11	2.9%
パート・アルバイト	44	11.5%
学生	2	0.5%
無回答	5	1.3%

【未婚・既婚等の状況】		
調査数	383	100.0%
結婚していない	26	6.8%
結婚している	346	90.3%
結婚していた	5	1.3%
無回答	6	1.6%

【子どもの人数】		
調査数	383	100.0%
0人	55	14.4%
1人	202	52.7%
2人	106	27.7%
3人	11	2.9%
4人	3	0.8%
5人以上	1	0.3%
無回答	5	1.3%

結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあればよいと考えますか。（該当するものに5つまで○）

男女の出会いの場の提供	28	7.3%
夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	178	46.5%
安定した雇用機会の提供	83	21.7%
結婚した方が有利になるような税制や社会保障	65	17.0%
結婚に関する相談体制	3	0.8%
結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援	113	29.5%
安定した住居の供給、住宅に対する補助支援	65	17.0%
女性が働きやすい環境づくり	140	36.6%
長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保	127	33.2%
産休・育休制度の充実	114	29.8%
妊娠・出産・子育てに関する相談・地域のサポート体制の充実	88	23.0%
妊娠・出産時の経済的負担の軽減	97	25.3%
子どもの人数に応じた経済的な支援	103	26.9%
保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実	217	56.7%
子育てがしやすい税制や社会保障	118	30.8%
学校などの教育環境の充実	58	15.1%
子どもの安全を確保する対策の充実	64	16.7%
小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制	97	25.3%
支援は必要ない	-	-
その他	13	3.4%
無回答	7	1.8%

資料3 クロス集計の検定結果

【Kruskal Wallis 検定】※漸近有意確率<0.05 であれば有意であり、差があるとみなされる。

(2) あれば良いと思うサポート	検定結果	年齢	性別	職業形態	未婚既婚等の状況	子どもの人数
男女の出会いの場の提供	カイ2乗	3.588	0.713	4.805	11.038	9.478
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.465	0.399	0.308	0.004	0.050
夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	カイ2乗	6.096	0.369	7.875	1.899	2.996
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.192	0.543	0.096	0.387	0.558
安定した雇用機会の提供	カイ2乗	10.101	0.130	11.550	5.820	4.206
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.039	0.718	0.021	0.054	0.379
結婚した方が有利になるような税制や社会保障	カイ2乗	0.906	15.977	10.021	0.696	5.919
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.924	0.000	0.040	0.706	0.205
結婚に関する相談体制	カイ2乗	1.563	0.180	0.851	0.274	1.773
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.815	0.671	0.931	0.872	0.777
結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援	カイ2乗	19.235	0.013	4.951	2.262	4.409
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.001	0.908	0.292	0.323	0.354
安定した住居の供給、住宅に対する補助支援	カイ2乗	8.736	2.428	3.338	3.461	1.858
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.068	0.119	0.503	0.177	0.762
女性が働きやすい環境づくり	カイ2乗	2.092	7.280	3.690	5.636	5.154
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.719	0.007	0.450	0.060	0.272
長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保	カイ2乗	5.201	0.071	1.515	4.276	5.587
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.267	0.790	0.824	0.118	0.232
産休・育休制度の充実	カイ2乗	7.371	1.041	3.355	1.854	4.985
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.118	0.308	0.500	0.396	0.289
妊娠・出産・子育てに関する相談・地域のサポート体制の充実	カイ2乗	6.016	1.973	7.285	2.707	2.707
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.198	0.160	0.122	0.258	0.608
妊娠・出産時の経済的負担の軽減	カイ2乗	5.557	0.009	5.105	0.437	5.855
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.235	0.923	0.277	0.804	0.210
子どもの人数に応じた経済的な支援	カイ2乗	3.236	6.201	2.870	0.403	24.618
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.519	0.013	0.580	0.817	0.000
保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実	カイ2乗	3.748	5.689	3.701	1.664	6.980
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.441	0.017	0.448	0.435	0.137
子育てがしやすい税制や社会保障	カイ2乗	6.642	1.604	2.648	1.012	4.153
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.156	0.205	0.618	0.603	0.386
学校などの教育環境の充実	カイ2乗	3.398	0.149	6.122	0.937	5.400
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.494	0.699	0.190	0.626	0.249
子どもの安全を確保する対策の充実	カイ2乗	8.326	1.999	5.717	2.406	10.048
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.080	0.157	0.221	0.300	0.040
小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制	カイ2乗	11.816	1.203	7.041	6.682	4.381
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.019	0.273	0.134	0.035	0.357
支援は必要ない	カイ2乗	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
その他	カイ2乗	1.350	1.804	1.801	1.221	1.234
	自由度	4	1	4	2	4
	漸近有意確率	0.853	0.179	0.772	0.543	0.872

少子化対策に関する市民アンケート調査
報告書

平成 27 年(2015 年)11 月

吹田市 行政経営部 企画政策室